

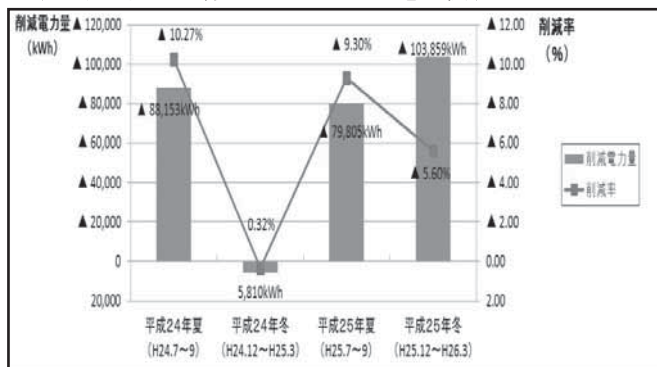
節電へのご協力ありがとうございました

昨冬は、長期間にわたり節電にご協力いただき、ありがとうございました。

町民の皆さんのご協力により、停電等もなく厳しい電力需給状況乗り越えることができました。

町においても国からの節電要請に基づき平成22年度同期比で6%以上の節電を目標として取り組み、平成25年12月から平成26年3月の節電実績は5.6%の減となりました。

〈役場庁舎、町有施設における節電実績〉



今夏以降も、電力供給の見通しが不透明であることから、町では引き続き節電に取

り組み、役場庁舎や公共施設等の照明の減灯、電子機器及び電気製品の待機電力の削減、公共施設のLED電灯の活用等を行います。

このため、役場庁舎及び公共施設内の照明が薄暗いなどご不便をおかけすることも考えられますが、ご理解とご協力をお願いします。

安平町では新エネ・省エネを進める指針として「安平町地域新エネルギー・省エネルギー導入プラン」を定め、地球温暖化対策やエネルギーの安定確保といった大きな課題に自治体として取り組むため、太陽光発電施設や環境配慮型自動車の導入推進、バイオマス等の未利用資源の調査、省エネや節電等に取り組みとともに、町民の皆さんへの普及啓発の取り組みを積極的に進め、町ぐるみでのエネルギー施策を推進します。

【ご意見】 旧富岡小学校の跡地に、小学校中学校をあわせて養護学校を建設できないか、お考えを聞かせてください。(4月提案・無記名)

■回答 お問い合わせありがとうございます。(4月提案)

平成24年3月に閉校となった富岡小学校の活用については、災害時の避難場所としての位置づけや、これまで地域全体で学校を支えてきた愛着のある施設であるということなどを踏まえ、地域住民の理解を得ながら施設の活用方策について検討しているところです。

ただし、提案いただいた「養護学校」の建設整備については、現在のところ考えておりませんが、お困りごとがある場合には具体的にお聞かせいただきたくので、左記までご連絡ください。ご相談内容によって、担当部署へおつなぎさせていただきます。

【お問い合わせ先】

企画財政課企画グループ
☎(22)2751

【ご意見】 広報へのご意見 1、印刷活字が小さすぎる。(文章も簡明に)

1、常識外の外来語は不使用に。(注釈を)

1、他新聞等で町民が知っている(町のこと)記事は不要。(4月提案・町民)

■回答

広報あびら4月号では、健診や事業の案内などのお知らせが多く、紙面に収めるため活字を小さくしたことで読みにくいといった不便をおかけしましたことをお詫びします。

町広報紙は、新聞紙面に使用されている活字と同じ大きさを基準に作成していますが、今年4月から新聞紙面の活字が少し大きくなったこともあり、町広報紙の活字が小さいと感じる方もいるかもしれません。

町民の皆さんに伝えるべき情報については、文章を簡潔にし、紛らわしい記号などを用いないよう心がけます。

次に、外来語についてですが、主に新聞などでも一般化しているものを採用し

ています。意図的にカタカナ表記している場合もありますが、広報作成の技法として取り組んでおりますことをご理解ください。

今後は、可能な限り理解しやすい言葉に置き換える、または、注釈を設けるなどの改善をします。

最後に、広報紙で取り扱う記事についてですが、広報紙は、町民の皆さんにとって身近な情報紙であると考えており、政策的な取り組みや町の動き、安平町で暮らす皆さんに必要な情報をお伝えするため発行しております。

新聞等で報道される安平町の情報については、町外に対する情報発信の一つとして情報提供を行うこともあり、各社による取材活動によってなされていることから、広報紙と同様の記事が掲載されてしまうことはやむを得ないと考えております。

【お問い合わせ先】

総務課情報グループ
☎(22)2511